

## 第 2 回共同経営・統合新病院整備に係る有識者会議 議事要旨

- 日時 令和 5 年 12 月 23 日（土） 13 時 00 分～14 時 30 分
- 場所 県庁西棟 8 階 大会議室
- 出席構成員（12名）青森公立大学 足達准教授  
弘前大学 片岡教授  
弘前大学 福田学長【座長】  
青森市医師会 北畠会長  
青森地域広域事務組合 佐藤消防長  
平内中央病院 首藤院長  
青森県医師会 高木会長  
全国自治体病院協議会 丹野青森県支部長（十和田市立中央病院事業管理者）（リモート）  
医療法人芙蓉会村上病院 水木院長  
乳がんピアサポート BEC あおもり 佐藤代表  
血液疾患と歩む患者・家族の会 納谷氏（青森県医療審議会委員）（リモート）  
青森市病院運営審議会 原子前委員
- 欠席構成員（2名）東北大学 岡田教授  
青森市町会連合会 佐々木会長

## ○案件

- （1）第 1 回有識者会議の議事要旨について
- （2）統合新病院の病床機能・病床数等について
- （3）統合新病院の開院時期について
- （4）地域医療連携推進法人制度について
- （5）その他

**（1） 第 1 回有識者会議の議事要旨について**

- ・意見なし

**（2） 統合新病院の病床機能・病床数等について****【① 両病院の主要機能関係】**

（水木構成員）

- ・県、青森市の医療を維持するため、がん医療に係る機能等、両病院が担ってきた機能は維持してほしい。

**【② 病床機能関係】**

（高木構成員）

- ・現在両病院が担っている高度急性期及び急性期機能をそのまま、良い方に、より高度になっていただければいいと思う。

(福田座長)

- ・回復期病院との連携を図りながら、高度急性期、急性期機能を中心をお願いしたい。

### 【③ 病床数関係】

(北島構成員)

- ・人口減少していくと思うが、必要病床数は確保してほしい。

(納谷構成員)

- ・患者としては、必要な時に本当に必要な分だけの医療を受けたいという思いがある。

(丹野構成員)

- ・90 パーセントの病床利用率は運用がタイトになるが、設定可能な数字だと思う。また、経営的にも妥当な数字だと思う。

(水木構成員)

- ・1つの案として、開院時は病床を多めにし、段階的に減らしていくことは可能か。

(事務局)

- ・可能だが、施設として大きく作ってしまうと、将来にわたり維持費が嵩んでいくことになる。

(佐藤構成員 (代表))

- ・経営的に赤字にならないようにしつつ、受診したいときに待たされず受けられる規模が望ましいと思う。

(福田座長)

- ・1日当たりの患者数を新型コロナウイルス感染症の影響がない期間 (A 案) をベースに、令和 12 年の開院で、病床利用率 90 パーセントで算出すると病床数は 750 床となる。
- ・現状、両病院の 1 日当たりの患者数は 717 人であり、750 床を下回っている。今後、患者が増える可能性は低いので、750 床でも患者の受入は可能と思われる。

### **(3) 統合新病院の開院時期について**

(北島構成員)

- ・青森市の急病センターを新病院に設置できれば、そこでまた青森市の医師会で協力できるのではないかと考えているので、開院時期はなるべく早く示してほしい。

(足達構成員)

- ・目標の開院時期を設定することは賛成である。

(原子構成員)

- ・統合新病院ができるまで、資料に掲げられている両病院における施設面の課題等は解決されないのか。

(事務局)

- ・患者さんのプライバシー等、様々の課題があることは承知している。できるだけ可能な範囲で、工夫はしていきたいと思っている。

(福田座長)

- ・目標の開院時期については、最近の病院整備事例で設計から開院まで最短で 6 年であることや、次期医療計画が令和 12 年 3 月までであることから、令和 12 年 3 月頃を目途としてはどうか。ただし、整備場所などによって、開院時期が若干遅れることを排除するものではないということ留意していただきたい。

#### **(4) 地域医療連携推進法人について**

(首藤構成員)

- ・医療従事者や患者の立場からは法人を設立するのは有益だと思う。

(佐藤構成員 (消防長))

- ・東青管内の救急搬送の約4割は軽症患者である。統合新病院は2次・3次救急を担うと思うが、1次救急との連携・機能分担が重要だと思うので、法人の枠組みをうまく活用してほしい。

(丹野構成員)

- ・両病院は急性期をやる病院として、下り搬送など転院先をシステム化するのが重要である。統合に向けてなるべく早く法人を設立したらいいのではないか。青森地域保健医療圏で機能分担の枠組みができると、他の圏域にも展開できるのではないかという期待がある。

(福田座長)

- ・いろんな領域を専門とする病院が多く関わるのが、この法人の成功になるのではないかと思う。
- ・早期にできる取組と、これから目指すべきものは分けて考えていく必要がある。次回は法人設立時期などスキーム案を事務局に示していただき、それに対して意見聴取することとしたい。

#### **(5) その他について**

(片岡構成員)

- ・統合新病院整備の検討に当たっては、次の建替も見据えて考えていくことが望ましいと思っている。

以上